

Ⅲ まとめ

1 成果

(1) 本県の児童生徒の学力の到達状況が明らかになった。(【表1】参照)

① 今回調査したすべての教科において、全国比平均が上昇し、学力が向上しているものと考えられる。

② 小学校5年は、中学校2年に比べ、上昇率が大きかった。

③ 前回の調査では、どの教科も全国平均の水準より低かったが、今回の調査では、小学校5年国語が全国平均の水準に達した。

また、小学校5年算数、中学校2年英語は、全国水準に比較的近い。しかし、中学校2年国語、数学は、全国平均の水準となお隔たりがある。

(2) 成績分布の特徴や推移について明らかになった。各教科の成績分布の主な特徴は、次のとおりである。

○ 小学校5年

国語：前回より4，5段階が増加し、中位から中位の上の層に厚みがある。

算数：前回より上位層へ移行しているが、正規分布と比べ2段階が多く4段階が少ない。

○ 中学校2年

国語：前回と大きな変化はなく、正規分布と比べ2段階が多く、4，5段階が少ない。

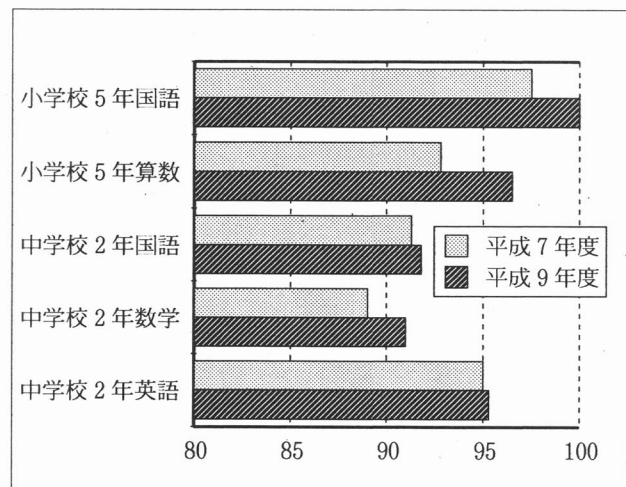
数学：前回より2の段階は少なくなったものの、依然として下位層に厚い分布である。

英語：前回と大きな変化はなく、正規分布と比べ3段階が少ないが、その分を2，4段階が分け合っている。

(3) 前回調査と併せてみることで、各教科ごとに、本県の学力到達状況の課題が、より具体的に把握できた。その課題の解決のため、「授業改善に向けて」として、指導例を提示することがで

【表1】大領域項目における全国平均

学年・教科		平成7年度	平成9年度	差
小学校 5年	国語	97.5	100.0	+2.5
	算数	92.8	96.5	+3.7
中学校 2年	国語	91.3	91.8	+0.5
	数学	89.0	91.0	+2.0
	英語	95.0	95.3	+0.3



きた。

2 今後の課題

(1) 今回の提案をベースに、教科指導の改善、授業改善について、実践的に研究を発展させていく必要がある。

(2) 今回の調査で対象外となった教科の学力到達状況やペーパーテストで測定するにはなじまない学力の要素等についての研究は、また別の機会に検討する必要がある。